

日本史授業プリント文化3 (020) 平安初期の文化 (弘仁貞観文化)

3年 組 番 _____

名称と時期 1 弘仁・貞観 文化 9世紀 ※嵯峨・清和天皇の年号 [月 日]

特色 ① 密教 の流行 → 絵画・彫刻・風俗へも

.....神秘的呪法による悟り ※従来の経典中心の仏教を3 _____ という

4 加持祈禱 の儀式(手で印を結び呪文を唱える) 5 現世利益 (病氣平癒、立身出世などをかなえる)

② 唐風文化の全盛...嵯峨中心 6 文章経国 思想(文芸が国家の支柱である)

<例> 7 勅撰漢詩文集 の編纂... 『8 凌雲集』(814)・『9 文華秀麗集』(818)・『10 経国集』(827)

11 三筆 ...唐様の書風 12 嵯峨天皇・13 橘逸勢・14 空海 (『15 風信帖』...最澄への手紙)

③ 国風文化の萌芽 ← 838年の遣唐使が最後 ※遣唐副使小野 篁 の乗船拒否事件

<例> 16 かなの誕生 (9世紀)...字形はまだ不統一 六歌仙(在原業平・小野小町ら)の活躍

新仏教 ① 入唐僧が伝える ② 密教色が濃い ③ 山岳仏教的要素 ④ 17 鎮護国家 + 個人救済

18 天台宗 19 最澄 (伝教大師) 近江出身 入唐804~805. 著書『顕戒論』『山家学生式』他

桓武の保護 → 比叡山に20 延暦寺 を開く ※主管する住職を 天台座主 という

21 法華経 の重視 万人の平等な救済を主張 → 比叡山に 大乗戒壇 を要求 → 南都と対立

密教化(22 台密) { 23 円珍 (智証大師: 入唐853~858)... 24 園城寺 (三井寺) → 25 寺門派

→ のち分裂 { 『入唐求法巡礼行記』

26 円仁 (慈覚大師: 入唐838~847)... 27 延暦寺 → 28 山門派

29 真言宗 30 空海 (弘法大師): 讃岐出身 入唐804~806. 著書『三教指帰』『十住心論』他

嵯峨の保護 → 31 東寺 (教王護国寺) 高野山に32 金剛峰寺

本格的な密教(33 東密)... 大日如来の 真実 の言葉の呪力で34 即身成仏 (現世で仏になる)

文筆や社会事業で活躍 <例> 『35 性霊集』(詩文集) 『文鏡秘府論』(詩論) 満濃池 [讃岐]

その他の信仰

36 修験道 ...密教と旧来の山岳信仰が融合 <例> 山伏 ※開祖は役小角とされる

37 神仏習合 ...仏教と旧来の神々の融合 神仏混淆ともいう ※奈良時代に始まる

<例> 38 神宮寺 (神社の境内に寺)、神前読経、神に仏号 (八幡大菩薩など)、

神像 (39 薬師寺僧形八幡神像 など)

40 御霊 信仰... 怨霊による災厄を恐れて祭る 御霊会(夏祭)

<例> 祇園社 (八坂神社 牛頭大王=スサノオ)、北野神社(菅原道真)

仏教美術 建築 自由な伽藍配置←山岳仏教

<例>⁴¹室生寺金堂 (檜皮葺の屋根)・五重塔 ※室生寺は”女人高野”

絵画 ⁴²園城寺不動明王像(⁴³黄不動)…三不動の一つ 秘仏

⁴⁴曼荼羅 …仏の世界を特異な構図で表現 金剛界と胎蔵界(⁴⁵両界曼荼羅)

<例>⁴⁶東寺(教王護国寺)両界曼荼羅 神護寺両界曼荼羅

彫刻 密教色…神秘的・官能的 不動明王像(大日如來の使者)・如意輪観音像が多い

様式…⁴⁸一木造 (一本の木材で)・⁴⁹翻波式(衣紋を大波小波に刻む)

<例> ⁵⁰観心寺如意輪観音像 法華寺十一面観音像 ⁵¹神護寺薬師如來像

⁵²元興寺薬師如來像 教王護国寺講堂不動明王像

室生寺金堂釈迦如來像 室生寺弥勒堂釈迦如來像

教育 ⁵³大学別曹 …大学で学ぶ子弟ための施設 寄宿舍・書籍など

<例> ⁵⁴弘文院(和氣氏)、⁵⁵勸学院(藤原氏)、⁵⁶学館院(橘氏)、

⁵⁷奨学院(在原氏・皇族・源氏・平氏など)

※大学の科目…⁵⁸明経道(儒学)・⁵⁹明法道(律令)・⁶⁰文章道(漢文・歴史)など

⁶¹種芸種智院 …空海の設立 庶民教育 仏教・道教も教える

その他 六国史編纂の継続 (『日本書紀』：持統朝まで)→『⁶²続日本紀』(～桓武朝初期)

→『⁶³日本後紀』(～淳和朝)→『⁶⁴続日本後紀』(仁明朝)→『⁶⁵日本文徳天皇実録』

『⁶⁶日本霊異記』…最古(9世紀成立)の仏教説話集 著者 景戒? 漢文体

時代順問題練習 <センター2007年日本試験より>

- I ③能書家としても知られたこの人物は、伴健岑とともに「国家を傾けむと謀りけり」として、流罪に処せられた。承和の変
- II ②遣唐使の書記官として入唐したこの人物は、「楚取る 五十戸良が声は瓊屋処まで 来立ち呼びぬ」などと詠んで、農民の生活を描写した。山上憶良 ↓大化の改新
- III ①学問僧として海を渡ったこの人物は、「初めて戸籍・計帳・班田収授の法を造れ」と宣言したとされる政權において、国博士に登用された。

名称と時期 1 _____ 文化 9世紀 ※嵯峨・清和天皇の年号 [月 日]

特色① 2 _____ の流行 → 絵画・彫刻・風俗へも
.....神秘的呪法による悟り ※従来の経典中心の仏教を 3 _____ という
4 加持祈禱^{かじきとう}の儀式(手で印を結び呪文を唱える) 5 現世利益^{げんぜりやく}(病氣平癒、立身出世などをかなえる)

② 唐風文化の全盛...嵯峨中心 6 _____ 思想(文芸が国家の支柱である)
<例> 7 勅撰漢詩文集の編纂...『8 凌雲集^{りょううん}』(814)・『9 文華秀麗集』(818)・『10 経国集』(827)
11 _____ ...唐様^{からよう}の書風 12 嵯峨天皇・13 橘逸勢^{はやなり}・14 _____ (『15 風信帖』...最澄への手紙)

③ 国風文化の萌芽 ← 838年の遣唐使が最後 ※遣唐副使小野 篁^{たかむら}の乗船拒否事件
<例> 16 かなの誕生(9世紀)...字形はまだ不統一 六歌仙(在原業平・小野小町ら)の活躍

新仏教 ① 入唐僧が伝える ② 密教色が濃い ③ 山岳仏教的要素 ④ 17 鎮護国家+個人救済
18 _____ 19 _____ (伝教大師^{でんぎょう}) 近江出身 入唐804~805. 著書『頭戒論』『山家学生式』他

桓武の保護 → 比叡山に 20 _____ を開く ※主管する住職を 天台座主^{てんだいざす}という
21 法華経の重視 万人の平等な救済を主張 → 比叡山に 大乘戒壇^{だいじょうかいだん}を要求 → 南都と対立
密教化(22 台密) { 23 _____ (智証大師: 入唐853~858)... 24 _____ (三井寺) → 25 寺門派
→ のち分裂 { 『入唐求法巡礼行記』
26 _____ (慈覚大師: 入唐838~847)... 27 延暦寺 → 28 山門派
29 _____ 30 空海(弘法大師): 讃岐出身 入唐804~806. 著書『三教指帰』『十住心論』他
嵯峨の保護 → 31 _____ () 高野山に 32 金剛峰寺
33 東密... 大日如来の真実の言葉の呪力で 34 即身成仏(現世で仏になる) 本格的な密教
文筆や社会事業で活躍 <例> 『35 性霊集^{しやうりやうしゅう}』(詩文集) 『文鏡秘府論』(詩論) 満濃池[讃岐]

その他の信仰
36 _____ ...密教と旧来の山岳信仰が融合 <例> 山伏 ※開祖は役小角とされる
37 _____ ...仏教と旧来の神々の融合 神仏混淆ともいう ※奈良時代に始まる
<例> 38 神宮寺(神社の境内に寺)、神前読経、神に仏号(八幡大菩薩など)、
神像(39 薬師寺僧形八幡神像^{そうぎやうはちまんしんぞう}など)
40 _____ 信仰... 怨霊による災厄を恐れて祭る 御霊会(夏祭)
<例> 祇園社(八坂神社 牛頭大王=スサノオ)、北野神社(菅原道真)

仏教美術 建築 自由な伽藍配置←山岳仏教

<例>₄₁_____ (檜皮葺の屋根)・五重塔 ※室生寺は「女人高野」

絵画 ₄₂園城寺不動明王像(₄₃_____)…三不動の一つ 秘仏

₄₄_____ …仏の世界を特異な構図で表現 金剛界と胎藏界(₄₅両界曼荼羅)

<例>₄₆東寺(教王護国寺)両界曼荼羅 神護寺両界曼荼羅

彫刻 密教色…神秘的・官能的 不動明王像(大日如來の使者)・如意輪観音像が多い

様式…₄₈_____ (一本の木材で)・₄₉翻波式(衣紋を大波小波に刻む)

<例> ₅₀観心寺如意輪観音像 法華寺十一面観音像 ₅₁神護寺薬師如来像

₅₂元興寺薬師如来像 教王護国寺講堂不動明王像

室生寺金堂釈迦如来像 室生寺弥勒堂釈迦如来像

教育 ₅₃_____ …大学で学ぶ子弟ための施設 寄宿舍・書籍など

<例> ₅₄弘文院(和気氏)、₅₅_____ 院(藤原氏)、₅₆_____ 院(橘氏)、

₅₇_____ 院(在原氏・皇族・源氏・平氏など)

※大学の科目…₅₈明経道(儒学)・₅₉明法道(律令)・₆₀文章道(漢文・歴史)など

₆₁_____ …空海の設立 庶民教育 仏教・道教も教える

その他 六国史編纂の継続 (『日本書紀』：持統朝まで)→『₆₂_____』(～桓武朝初期)

→『₆₃日本後紀』(～淳和朝)→『₆₄続日本後紀』(仁明朝)→『₆₅日本文徳天皇実録』

『₆₆日本靈異記』…最古(9世紀成立)の仏教説話集 著者 景 戒? 漢文体

時代順問題練習 <センター2007年B本試験より>

- I 能書家としても知られたこの人物は、伴健岑とともに「国家を傾けむと謀りけり」として、流罪に処せられた。
- II 遣唐使の書記官として入唐したこの人物は、「楚 取る しと 五十戸良が声は寝屋処まで 来立ち呼ばひぬ」などと詠んで、農民の生活を描写した。
- III 学問僧として海を渡ったこの人物は、「初めて戸籍・計帳・班田収授の法を造れ」と宣言したとされる政権において、国博士に登用された。